

MDV診療データ調査リリース vol.2 「高脂血症に関する薬剤処方実態調査」

医療情報のネットワーク化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役:岩崎 博之 以下、MDV)は、2013年12月より、「糖尿病」「高脂血症」「高血圧」をはじめとする合計6テーマの調査結果を発表しております。第2回となる今回は、高脂血症に関する薬剤処方実態についての調査結果をお知らせいたします。

なお当社は、株式会社日本経済新聞デジタルメディア(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:木本芳樹)が手がける日本最大級の会員制ビジネス情報検索サービス「日経テレコン」に、病院における薬剤処方実態や各疾患領域の患者規模状況などを明らかにする「MDV診療データ」()を配信しています。

【 サマリ 】

2011年12月～2013年11月における Crestor、Lipitor、Zetia の処方患者数は2割程度増

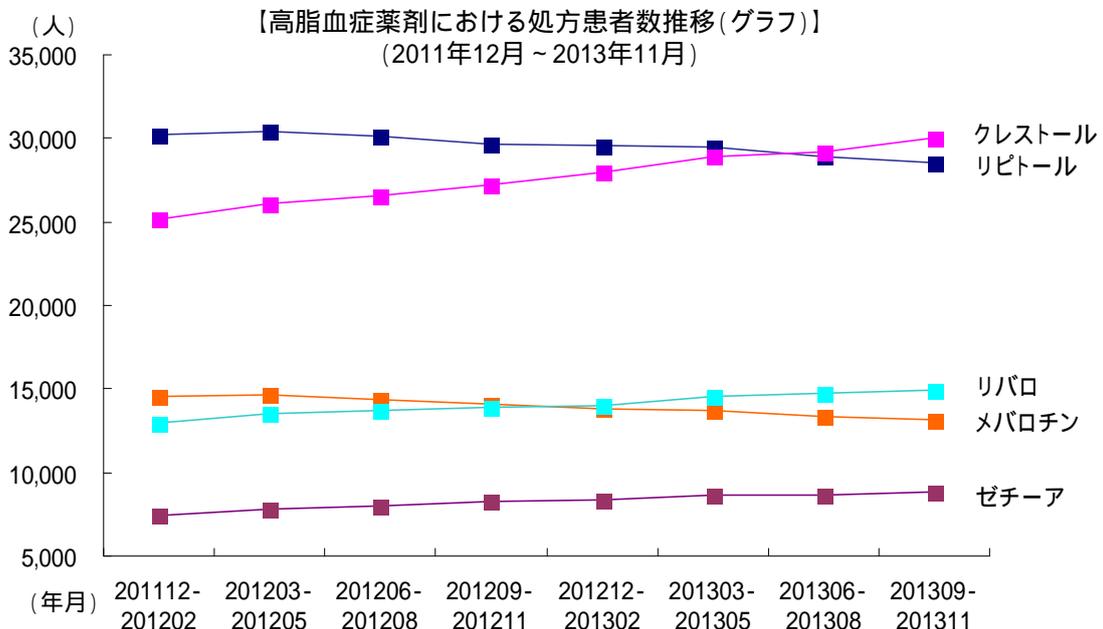
2011年12月～2013年11月における Atorvastatin 製剤後発品の処方患者数は約5倍に

2011年12月～2013年11月における「EE」の処方患者数は約23倍に

【 2011年12月～2013年11月における Crestor、Lipitor、Zetia の処方患者数は2割程度増 】

まず、2011年12月～2013年11月における高脂血症薬剤の処方患者数上位5薬剤についてその推移をみてみます。後発品が発売されているリピートル(2011年特許切れ)及びメバロチン(2002年特許切れ)は緩やかな減少を続けています。それぞれ2011年12月～2012年2月と2013年9月～11月での処方患者数を比較すると、リピートルは30,188人から28,531人(94.5%)、メバロチンは14,574人から13,135人(90.1%)となりました。

一方で、Crestor、Lipitor、Zetiaは徐々に伸びています。2011年12月～2012年2月と2013年9月～11月のそれぞれの処方患者数は、Crestorが25,197人から30,035人(119.2%)、Lipitorが12,991人から14,950人(115.1%)、Zetiaが7,455人から8,834人(118.5%)となっています。



【高脂血症薬剤における処方患者数推移(実数)】
(2011年12月～2013年11月)

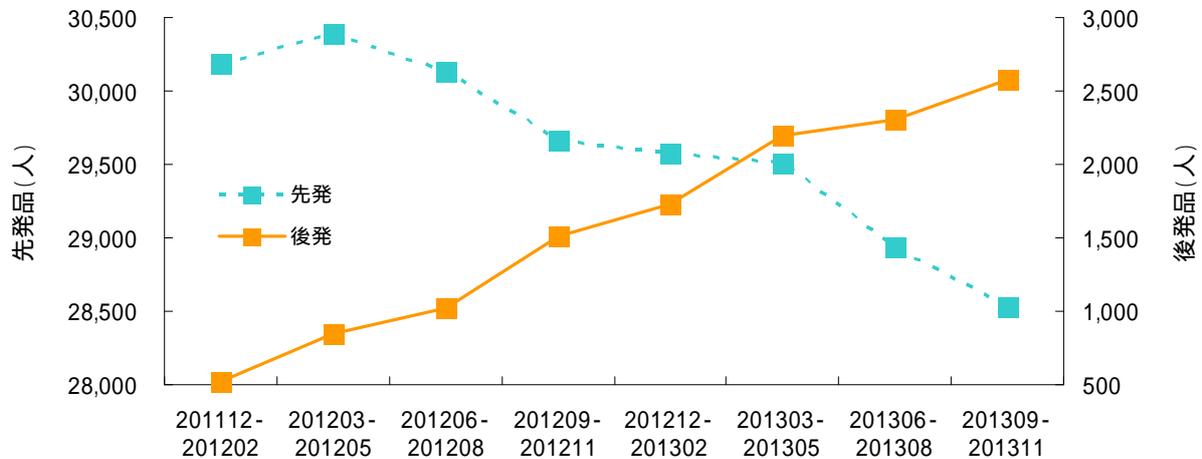
(単位:人)

	リピトール	クレストール	メバロチン	リバロ	ゼチーア
201112-201202	30,188	25,197	14,574	12,991	7,455
201203-201205	30,393	26,061	14,640	13,572	7,818
201206-201208	30,127	26,536	14,416	13,735	8,044
201209-201211	29,665	27,217	14,128	13,883	8,272
201212-201302	29,571	27,954	13,805	14,041	8,395
201303-201305	29,513	28,915	13,713	14,577	8,638
201306-201308	28,939	29,233	13,364	14,747	8,676
201309-201311	28,531	30,035	13,135	14,950	8,834

【2011年12月～2013年11月におけるアトルバスタチン製剤後発品の処方患者数は約5倍に】

次に、2011年12月～2013年11月におけるアトルバスタチン製剤の先発品及び後発品の処方患者数推移についてみてみます。先発品は、2011年12月～2012年2月が30,188人、2013年9月～11月は28,531人と緩やかな減少を見せる一方、後発品は、2011年12月～2012年2月が524人、2013年9月～11月は2,580人と約5倍に伸びています。

【アトルバスタチン製剤の先発品及び後発品の処方患者数推移(グラフ)】
(2011年12月～2013年11月)



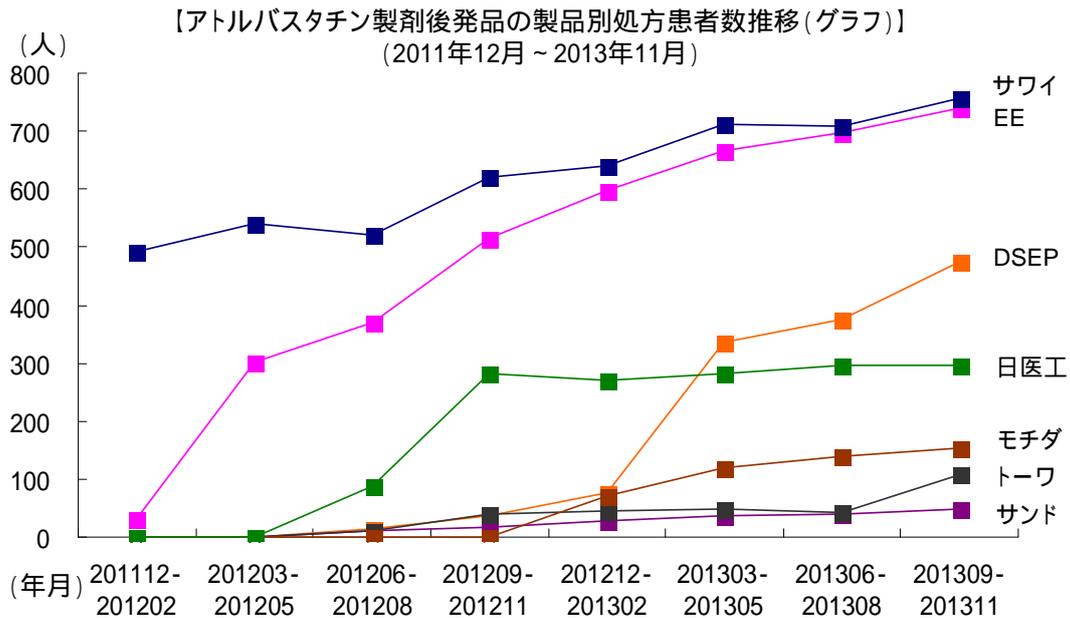
【アトルバスタチン製剤の先発品及び後発品の処方患者数推移(実数)】
(2011年12月～2013年11月)

(単位:人)

	先発	後発
201112-201202	30,188	524
201203-201205	30,393	845
201206-201208	30,127	1,017
201209-201211	29,665	1,513
201212-201302	29,571	1,731
201303-201305	29,513	2,199
201306-201308	28,939	2,300
201309-201311	28,531	2,580

【2011年12月～2013年11月における「EE」の処方患者数は約23倍に】

最後に、2011年12月～2013年11月におけるアトルバスタチン製剤後発品について、製品ごとの処方患者数推移をみてみます。特に大きく伸びているのが2011年に発売された「EE」で、2011年12月～2012年2月と2013年9月～11月を比較すると32人から741人と約23倍の伸びとなり、首位の「サワイ」に迫っています。また、2012年に発売された「DSEP」も「サワイ」「EE」には数では及ばないものの、2012年6月～8月では14人だった処方患者数が2013年9月～11月には475人となり3位に浮上しています。一方で2012年に発売された「日医工」は、2012年9月～11月までは伸びをみせたものの、それ以降はほぼ横ばいとなっています。



【アトルバスタチン製剤後発品の製品別処方患者数推移(実数)】
(2011年12月～2013年11月)

(単位:人)

	サワイ	EE	DSEP	日医工	モチダ	トーフ	サンド
201112-201202	492	32	0	0	0	0	0
201203-201205	542	303	0	0	0	0	0
201206-201208	521	370	14	89	0	12	11
201209-201211	621	516	38	281	0	41	16
201212-201302	641	597	77	270	71	46	29
201303-201305	711	666	337	283	119	48	36
201306-201308	708	698	376	295	140	43	41
201309-201311	757	741	475	297	154	108	49

【調査概要】

調査手法：当社が保有する「診療データベース」より抽出分析

調査対象：二次利用の許諾を得た約134の急性期病院(がん拠点病院45病院を含む)のうち、調査対象期間のデータが全てそろっている69病院、約270万人

調査期間：2011年12月～2013年11月

()「MDV診療データ」とは

「MDV診療データ」は、病院における薬剤処方実態や各疾患領域の患者規模状況など、様々な薬剤に関する情報を、日本最大級の会員制ビジネス情報検索サービス「日経テレコン」に配信するものです。当社が保有する診療データベースを分析することにより、今まで把握困難だった病院における薬剤処方実態の把握が可能となりました。